

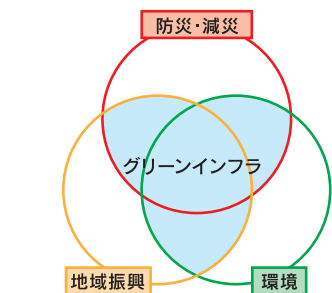


豊かで活力ある地域づくり

■魅力ある地域づくり

○流域治水プロジェクトにおけるグリーンインフラの取り組みの推進

生物の多様な生息環境の保全・創出、地域の自然環境と調和する景観形成等の環境の取り組みについて流域のあらゆる関係者とともに推進してまいります。



※グリーンインフラ推進ロゴマーク

生物の多様な生息・生育環境の保全・創出



遠賀川自然再生(福岡県直方市)

地域の自然環境と調和する景観形成

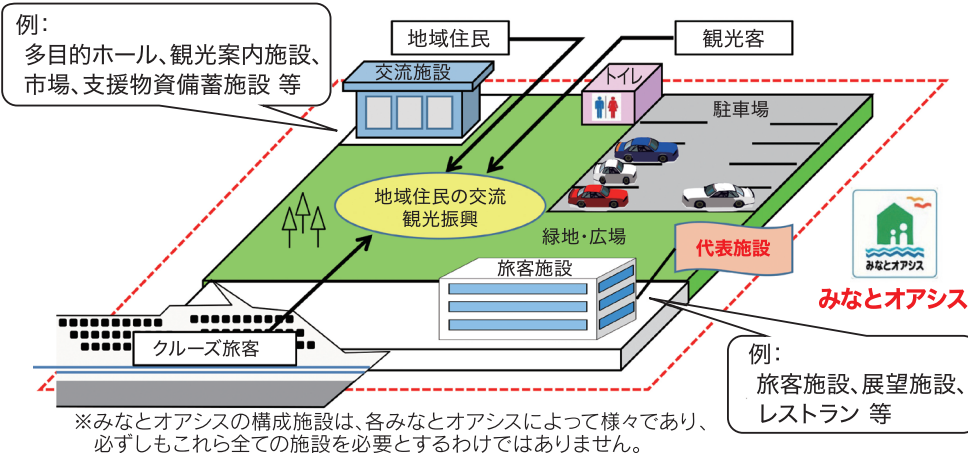


このはなロード、五ヶ瀬川かわまちづくり(宮崎県延岡市)

○「みなと」を核とした住民参加による地域振興の取り組み

「みなと」を核としたまちづくりを促進しており、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を「みなとオアシス」として全国157箇所(九州管内23箇所)登録(令和5年1月末時点)しています。

令和4年度は、「みなとオアシスさせほ」が新たに登録されました。



みなとオアシスさせほ(長崎県 佐世保市)



代表施設:新みなとターミナル



構成施設(一例):新みなとイベント広場

○まちづくりと調和した「官庁施設」づくり(官庁営繕)

国民の共有財産である官庁施設に関して、良質な施設及びサービスを効率的に提供し、公共建築分野において常に先導的な役割を果たします。

◇鹿児島第3地方合同庁舎(鹿児島県鹿児島市)



「歴史と文化の道」に面する庁舎(令和5年度完成予定)

◇名瀬第2地方合同庁舎(鹿児島県奄美市)



港のまちづくりと調和した庁舎(令和6年度完成予定)

○地域活性化に寄与する「国営公園」の整備・管理

豊かな自然環境や優れた文化的資産を生かし、多様なニーズに応える広域レクリエーション拠点や歴史・文化の体験・発信の拠点として地域活性化に寄与する国営公園の整備・管理を推進します。

海の中道海浜公園



公募設置管理(Park-PFI)制度を活用し、官民連携で宿泊施設や遊戯施設等を整備・管理運営



広大なネモフィラ畑など、花の見所を提供



イベントの開催地として活用

国営吉野ヶ里歴史公園



特別史跡「吉野ヶ里遺跡」において、弥生時代の『クニ』の中心的な集落を実物大で復元整備



歴史体験・学習の場として活用

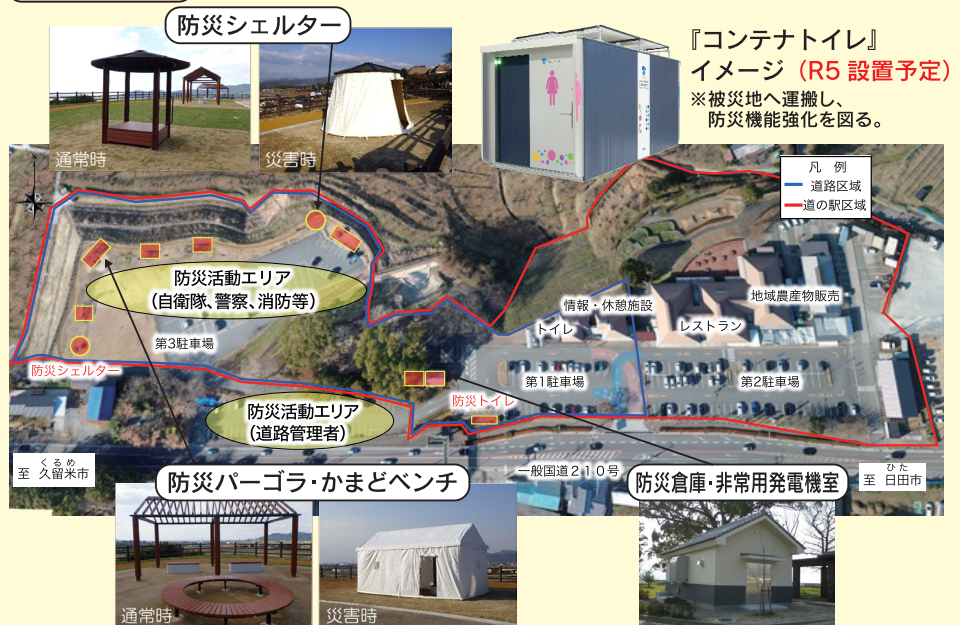


イベントの開催地として活用

○「道の駅」第3ステージの更なる活性化

「道の駅」は、九州で139箇所登録されています(令和5年4月時点)。「道の駅」の第3ステージとして、防災拠点化、ニューノーマル対応、地域センター化に向け取り組みを実施しており、更なる活性化を図っていきます。

防災拠点化



道の駅「うきは」(福岡県うきは市)防災道の駅選定。大規模災害発生時の、指令・緊急車両集結拠点としての広域防災機能の発揮を想定。

ニューノーマル対応



トイレのリニューアル
非接触による自動点灯、手洗い利用

地域センター化



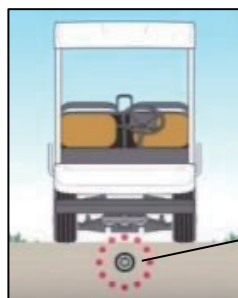
子育て支援設備の設置

○新たなモビリティ

自動運転に代表される先端テクノロジーを活用した進化型の移動手段や環境に配慮した移動サービスについて、支援を推進します。



福岡県みやま市で運行中の自動運転車両



電磁誘導線を敷設し、車両を誘導



大分県大分市で実験運行中の低速電動バス「グリーンスローモビリティ」